

# 安曇野屋敷林サポーター通信

第41号

発行日/ 2023年10月2日

編集・発行/ 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

事務局/ 安曇野市商工観光スポーツ部観光課 ☎0263-71-2053

URL/ keikan-azumino.net



## 活動報告 信州歴史的まちなみフォーラムin妻籠

屋敷林と歴史的まちなみプロジェクトも加盟する信州の歴史的まちなみネットワークでは、9月9日～10日に南木曾町妻籠で4回目のフォーラムを開催しました。

約60名が参加した講演会では 国学院大学の西村幸夫氏ら5人が発表し、約30名が参加した翌日の中山道ハイキングでは、約8キロの中山道を歩き当時の時代に触れた思いです。

妻籠は1975年に重要伝統的建築物保存地区に全国に先駆けて指定されました。歴史の重みと妻籠を愛する会の活力を感じたフォーラムでした。(場)



## 活動案内 安曇野環境フェア2023



10月7日～8日に堀金総合体育館で「安曇野環境フェア2023」を開催します。当日はパネル展示を行うと共に、8日午前に堀金の屋敷林見学会も予定しています。

屋敷林は安曇野の景観の特長ですが、現在急速に失われつつあります。この機会に屋敷林について再考し、緑のある街づくりを考えるきっかけとなればと思います。

参加希望者は 当日屋敷林と歴史的まちなみプロジェクトのブース前にご集合ください。

(場) 【別紙参照】

## 活動案内 落葉拾いボランティア

屋敷林とは屋敷の周囲に意図的に植えられた樹木群で、歴史的景観や安曇野のシンボルでもあります。先人はこの屋敷林に目的をもって造り、屋敷林は生活に密着していたのです。

今年度の落ち葉拾いのボランティアは、11月23日午前に三郷七日市場の布山邸で行います。落葉拾いの後、隣接する江戸時代の民家と土蔵の見学も予定しています。所有者のご苦勞を体験できる貴重な機会でもありますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。(場) 【別紙参照】



## 活動案内 第33回ふるさとウォッチングin安曇野



屋敷林と歴史的まちなみプロジェクトとNPO法人安曇野ふるさとづくり応援団が共催する、安曇野の原風景を巡る「ふるさとウォッチング」。33回目は拾ヶ堰で栄えた穂高柏原地区にて10月29日に開催し、柏原会館を起点に、日吉神社や拾ヶ堰、屋敷林、道祖神などを訪ね歩きます。

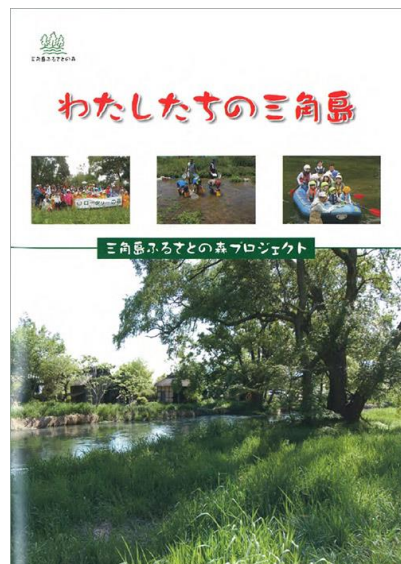
安曇野の自然、歴史、文化を学びながら、秋の安曇野と一緒に散策してみませんか？先着40名で事前申込が必要です。（宮）【別紙参照】

## 活動案内 親子で楽しむ三角島体験

大王わさび農場の水車小屋の対岸に位置し、水と緑が豊かな三角島。三角島ふるさとの森プロジェクト、NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団、あづみ野ロータリークラブの共催で、11月3日に「親子で楽しむ三角島体験」を開催します。

今年の三角島体験は、昨年大好評だった「謎解きウォークラリー」。地図を片手に親子で三角島を探検します。参加者にはガイドブック「わたしたちの三角島」をプレゼントしますので、この機会に三角島の魅力を体感してみませんか？

（宮）【別紙参照】



## 活動案内 ココブラ信州2023秋



2019年度にスタートした「案内人と楽しむまち歩き～ココブラ」。今までのコース主体のまち歩きではなく、ガイドの個性を活かしたニッチでディープな案内人主体のまち歩きです。

開催中の2023秋も、个性的な案内人による魅力的なコースが盛りだくさん。今回は森の案内人として全国的に有名な三浦豊氏による特別企画もあり、10月28日には庭師の視点で三郷下長尾の屋敷林を巡ります。各コース定員10名の先着順なので、お申込みはお早めに……。 （宮）【別紙参照】

## 【屋敷林サポーター】

安曇野の屋敷林の保全活用を目的に、2011年度に立ち上げた「屋敷林サポーター」。2018年度の総会で規約を改正し、サポーターの会費は他の活動費と区分し、全額を将来創設予定の基金準備金として積立てています。

尚、2022年度の「屋敷林サポーター」の会員期限は3月末で終了しました。更新手続きが未了の方は別紙案内を確認の上、引き続き会員継続と活動へのご協力をお願いします。